

活動の概要

2015 年度にシステム系の契約更新のため、ネットワーク等のシステム関係の機器やサービス等の決定の他、それらに対応した学内規程等の見直しを実施した。また、スマートフォン・タブレット端末の福祉分野での活用研究会を開催したり、名工大の先生らと共同研究等を行ったりした。

学内での活動

1 情報学基礎の担当

情報学基礎を安藤先生、小林孝浩先生らとともに担当した。授業において、制御プログラム (Choregraphe) によりヒト型ロボット (Pepper/Nao) を制御し、最終的に公共空間で実機を設置・動作させることを試みた。

日時：2015 年 4 月 28 日 (火) ～6 月 10 日 (水) まで

■ロボット貸出などの協力

株式会社サイエンスネット、公益財団法人ソフトピアジャパン、アビダ
ルマ株式会社

■実施場所協力

大垣市市街地整備課、スイトピアセンター、ソフトピア・センタービル指定管理者、デンパ堂、
餅惣、三輪酒造、ソフトピア・ショップ・ピア

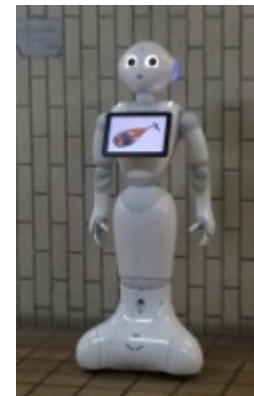


図 1 地下道での様子

2 システム委員会

学内ネットワークや、グループウェア等の学内システムに関する業務や、ネットワーク保守業者等との定例会などに関わった。また、IAMAS 2016 (期間 2/25～2/28) のネットワーク環境についてソフトピアジャパンの指定管理者・学生らと共連携して担当した。また、本学のシステム関係の学内規程見直しを昨年度に引き続き実施し、完了した。

3 新ネットワークの改更について

本学のネットワーク保守業務が H27 年 12 月となっているため、新システム入れ替えに関する検討を行い、機器等や実施スケジュール調整を業者らと行った。

4 システムに関するする会議

2015 年度のシステム関係、特にネットワーク改更に関わる仕様書等の作成やシステム管理等での状況の共有や改善する等を目的として週一回程度開催した。また、ネットワーク保守業者との定例会を開催した。

5 システム関係の規程の見直しに関する対応

新ネットワークへの改更等により学内規程等の見直しを行った。また、それらを年度途中で周知するための FD 研修等も行った。

学内外での活動

1 スマートフォン・タブレット端末を福祉分野での活用研究会（座長）

昨年度からの継続で、岐阜本巣特別支援学校、郡上特別支援学校等の他に、恵那特別支援学校も新たにメンバーとして参加いただき、障がい児の就労支援を目的としたタブレット端末アプリについて検討する研究会を平成 27 年度文部科学省「特別支援教育に関する実践研究充実事業（特別支援教育に関する NPO 等の活動・連携の支援に関する実践研究）」の一環として実施した。特別支援学校の喫茶サービス実習でのタブレット端末やその他の ICT 機器を活用した効果的な使用方法について構築し、教育効果等に関してさまざまな議論を行った。

2 日本職業リハビリテーション学会にて就労支援を目的としたタブレット端末アプリ等について発表

研究会で取り扱ったアプリの内容を日本職業リハビリテーション学会第 43 回東京大会にて発表をした。

会期：2015 年 8 月 22 日（土）～23 日（日）

発表：2015 年 8 月 23 日（日）

タイトル：職業体験教育で子どもたちのコミュニケーション力を引き出すためのタブレット端末を活用した取り組み

場所：大妻女子大学

3 「パナソニック研究財団平成 27 年度実践研究助成」による実践研究協議会の研究員として参加

岐阜県立郡上特別支援学校が道の駅にて行っている生徒たちの喫茶の職業体験学習についてこれまで実施したことからアドバイス等を行った。

日時：2015 年 9 月 2 日（水）、2016 年 3 月 11 日（金）

場所：古今伝授の里道の駅やまとギャラリー

4 ATAC カンファレンス 2015 京都で発表

上記の研究会で実施して来た障がい児の就労支援向けのタブレット端末アプリを中心にその他の機器や実践事例をポスター形式で紹介した。

タイトル：「特別支援教育における職業体験学習をさらに効果的にするために」

日時：2015 年 12 月 19 日（土）

場所：国立京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）



5 日本リハビリテーション連携科学学会第 17 回大会にて今年度の内容をポスター形式にて発表した。

タイトル：子供たちの達成感を高めるための特別支援学校における職業体験学習を支援する取り組み

会期：2016 年 3 月 19 日（土）～20 日（日）

発表：2016年3月20日（日）

場所：国際医療福祉大学 大田原キャンパス

6 特別支援教育に関する NPO 等の活動・連携の支援に関する実践研究成果発表セミナー「障がい児・者のタブレット活用セミナー」で発表

今年度の研究会の内容を実践研究報告として口頭発表した。同時に体験できる時間も設けた。

タイトル：特別支援学校の喫茶サービスにおけるタブレット端末のコミュニケーション能力拡大のための活用法

日時：2016年3月22日（火）

場所：ソフトピアジャパン 10F 中会議室 1

7 感性情報に関する研究（共同研究）

名古屋工業大学 中村先生、中京大学 加納先生らと共にロボットにおける感情をどのように捉えるか、ロボットと人間が共生するためのキーとなる感性情報や接触等についての共同研究を行った。

8 看護系教育コンテンツ作成を産学官連携で実施

サンメッセ（株）、タイムカプセル（株）らのメンバーと中京学院大学、大垣女子短期大学、滋賀医科大学の先生らとともに、タブレット端末を利用した教育コンテンツに関して多視点映像による看護技術タブレット教材の開発に携わった。昨年度作成したコンテンツで実際に学校で利用してもらってフィードバックをもらうなど行った。また、体験版アプリとして iOS 版をリリースするなど行った。

学外での教育活動

1 大垣市 ICT 戦略ビジョン策定懇話会副座長

大垣市が策定する ICT 戦略ビジョンに対する提言等を行う、大垣市 ICT 戦略ビジョン策定懇話会の副座長として懇話会 4 回に参加した。

2 朝日大学歯科衛生士専門学校で講師

朝日大学歯科衛生士専門学校で、非常勤講師として「情報処理」の講義を担当した。

発表論文など

[1] 山田晃嗣、渡辺崇史：「職業体験教育で子どもたちのコミュニケーション力を引き出すためのタブレット端末を活用した取り組み」日本職業リハビリテーション学会第 43 回東京大会プログラム・発表論文集、pp124-125, Aug. 2015

[2] 山田晃嗣、山田篤子、伊藤史、吉田淑方、藤井勝敏、窪田直樹、篠田義人、渡辺崇史、太田秀昭：「特別支援教育における職業体験学習をさらに効果的にするために」、ATAC カンファレンス京都、ポスター発表, Dec. 2015

[3] 山田晃嗣、上村数洋：「子供たちの達成感を高めるための特別支援学校における職業体験学

習を支援する取組み」日本リハビリテーション連携科学学会第 17 回大会プログラム・抄録集、ポスター発表 pp75、Mar. 2016

- [4] 山田晃嗣：「特別支援学校の喫茶サービスにおけるタブレット端末のコミュニケーション能力拡大のための活用法」特別支援教育に関する NPO 等の活動・連携の支援に関する実践研究成果発表セミナーにて口頭発表 Mar. 2016
- [5] Michihiko Furuhashi, Tsuyoshi Nakamura, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: Touch-Based Information Transfer from a Robot Modeled on the Hearing Dog, 2015 IEEE International Conference on Fuzzy Systems (FUZZ-IEEE2015), in USB Memory, Istanbul, Turkey, August 2-5, 2015.
- [6] Michihiko Furuhashi, Tsuyoshi Nakamura, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: Haptic Communication Robot for Urgent Notification of Hearing-Impaired People, ACM/IEEE International Conference on Human-Robot Interaction (HRI 2016), Christchurch, New Zealand, March 7-10, 2016.
- [7] Kenichi Murata, Tsuyoshi Nakamura, Kazuya Endo, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: Japanese Kanji-Calligraphic Font Design using Onomatopoeia Utterance, IEEE World Congress on Computational Intelligence (WCCI 2016), Vancouver, Canada, July 24-29, 2016 (accepted).
- [8] 小泉智也, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボットの情報伝達行動設計, 第 40 回東海フアジ研究会, p.P1-01, 2016.
- [9] 吉池雅斗, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: Adobe Illustrator におけるイラスト制作支援プラグインの開発, 第 40 回東海フアジ研究会, p.P1-03, 2016.
- [10] 山田祐里, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: オノマトペ発話を用いた Adobe Illustrator のブラシデザイン, 第 40 回東海フアジ研究会, p.P1-04, 2016.
- [11] 野々村篤, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボットの音源認識性能に関する調査, 第 40 回東海フアジ研究会, p.P2-01, 2016.
- [12] 守屋祐紀, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 対話型強化学習によるロボット制御則の獲得, 第 40 回東海フアジ研究会, p.P2-02, 2016.
- [13] 古橋道彦, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボット AcToR による緊急情報伝達支援, 福祉情報工学研究会, 2015.
- [14] 古橋道彦, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボット AcToR における緊急情報伝達のための接触動作設計, ヒューマンエージェントインタラクションシンポジウム, 2015.
- [15] 古橋道彦, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴覚障がい者の情報伝達支援を目指したロボット AcToR に関する報告 その 2: 聴覚障がい者による実験評価事例, 平成 27 年度 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会, in CD-ROM, 2015.
- [16] 中村凱, 中村剛士, 加納政芳, 種田行男, 樋口励, 出口寛, 武満知彦, 山田晃嗣: 電動アシス

トを用いたシルバーカーの使いやすさの向上, 平成 27 年度 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会, in CD-ROM, 2015.

- [17] 村田健一, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: オノマトペとグラフ表現を用いた毛筆フォントデザイン, 平成 27 年度 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会, in CD-ROM, 2015.
- [18] 古橋道彦, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴覚障がい者の情報伝達支援を目指したロボット AcToR に関する報告, 第 31 回ファジィシステムシンポジウム, in CD-ROM, 2015.
- [19] 野町希望, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣, 西野順二: このへんファジィを用いた筆記者間のオノマトペ類似度評価, 第 31 回ファジィシステムシンポジウム, in CD-ROM, 2015.
- [20] 村田健一, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: オノマトペ発話を用いた毛筆フォントデザインの一提案, 第 31 回ファジィシステムシンポジウム, in CD-ROM, 2015.
- [21] 中村凱, 中村剛士, 加納政芳, 種田行男, 樋口励, 出口寛, 武満知彦, 山田晃嗣: 電動アシストシルバーカーの動作安定指標の検討, 第 39 回東海ファジィ研究会, pp.31-32, 2015.
- [22] 野町希望, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣, 西野順二: このへんファジィを用いた筆記動作の共有に関する調査, 第 39 回東海ファジィ研究会, pp.51-52, 2015.
- [23] 村田健一, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: オノマトペ発話による毛筆フォントの掠れ滲みデザイン, 第 39 回東海ファジィ研究会, pp.101-102, 2015.